

丹後の廃村現象から考える
 —暮らしの豊かさとは—

企画展

—豪雪と山村の暮らしをめぐる60年—

サンパチ

2022 Kyoto Prefectural
 Tango Regional Museum
 Special Exhibition

SANPACHI

—Sixty Years of Heavy Snowfall and Mountain Villages—



2022年 12月24日(土) - 2023年 4月9日(日)

休館日 月曜日(1/9は開館して翌日休館)、年末年始(12/28~1/4)
 開館時間 午前9時~午後4時30分
 入館料 一般200円 小中学生50円
 団体割引(20名以上) 一般150円 小中学生40円
 ○ただし、実の方は無料
 満65歳以上の方、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者
 小中学校等の学校教育活動の機会
 ○「きょうと子育て応援パスポート」が利用可能

主催 キヤブロン
 京都府立丹波大学学芸部(協賛) 京都府立丹波大学学芸部(協賛)
 丹波大学学芸部(協賛) 丹波大学学芸部(協賛) 丹波大学学芸部(協賛)

●関連イベント Related Events

講演会 「消えない村-京丹後の離村集落とその後-

日時 1月28日(土) 午後1時30分~3時
 定員 30名
 講師 小山 元孝さん 福知山大学地域研究センター NPO I&A TEAM 代表

講演会 「旧世屋・野間の人々の暮らしの中のいのり」

日時 3月11日(土) 午後1時30分~3時
 定員 30名
 講師 小野 泰昭さん 元丹波野間文化財保護委員会 会長

●関連展示 Related Exhibits

紙すき同好会作品展

(丹波郷土資料館ホームページ参照)
 会期 3月23日(水)~4月2日(日)
 場所 旧永島家住宅(当館)
 宮津市畑の伝統的な手漉き和紙技術を継承し、
 30余年にわたって活動を続ける会員の作品を
 展示します。



ふるさとミュージアム丹後
 (京都府立丹後郷土資料館)

〒629-2234 京都府宮津市宇園分小学天王山611-1 TEL.0772-27-0230 FAX.0772-27-0020

・京都丹後鉄道宮津線「天橋立駅」または「宮津口駅」から
 丹海バス伊勢方面行き「丹後郷土資料館」下車。または
 「園分」下車徒歩5分
 ・「与謝天橋立IC」から車で10分

